



2018年3月期 決算説明会

2018年5月25日

旭ダイヤモンド工業株式会社



1. 企業概要

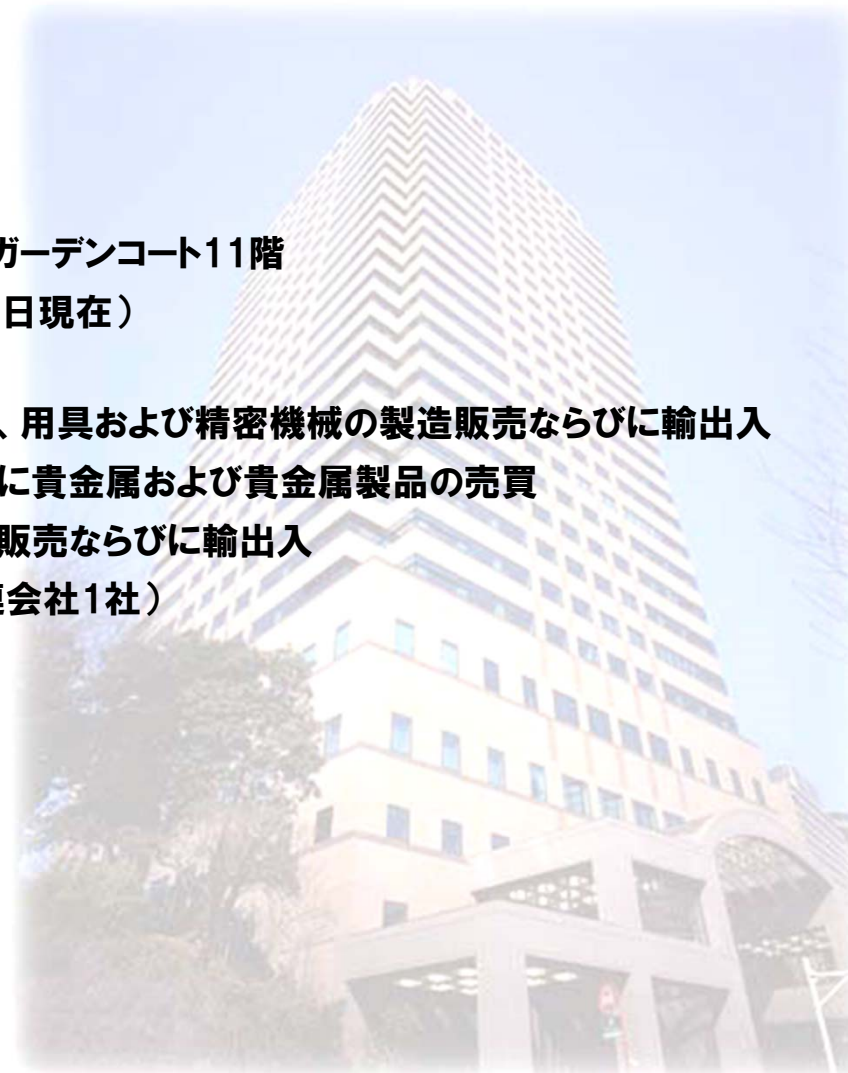
2. 2018年3月期決算の概要

3. 2019年3月期の見通し

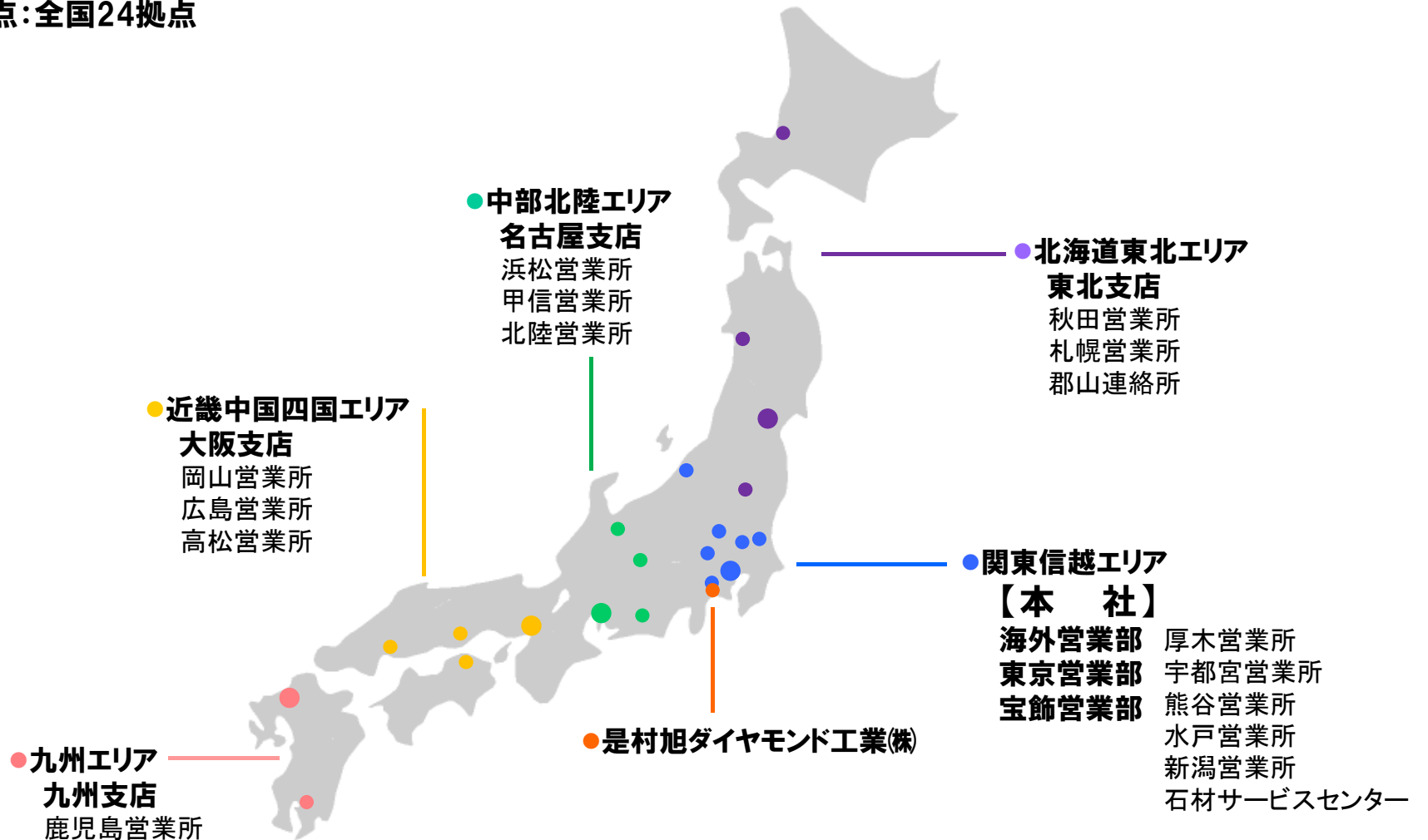
4. 中期経営計画の振り返り

5. 今後の戦略

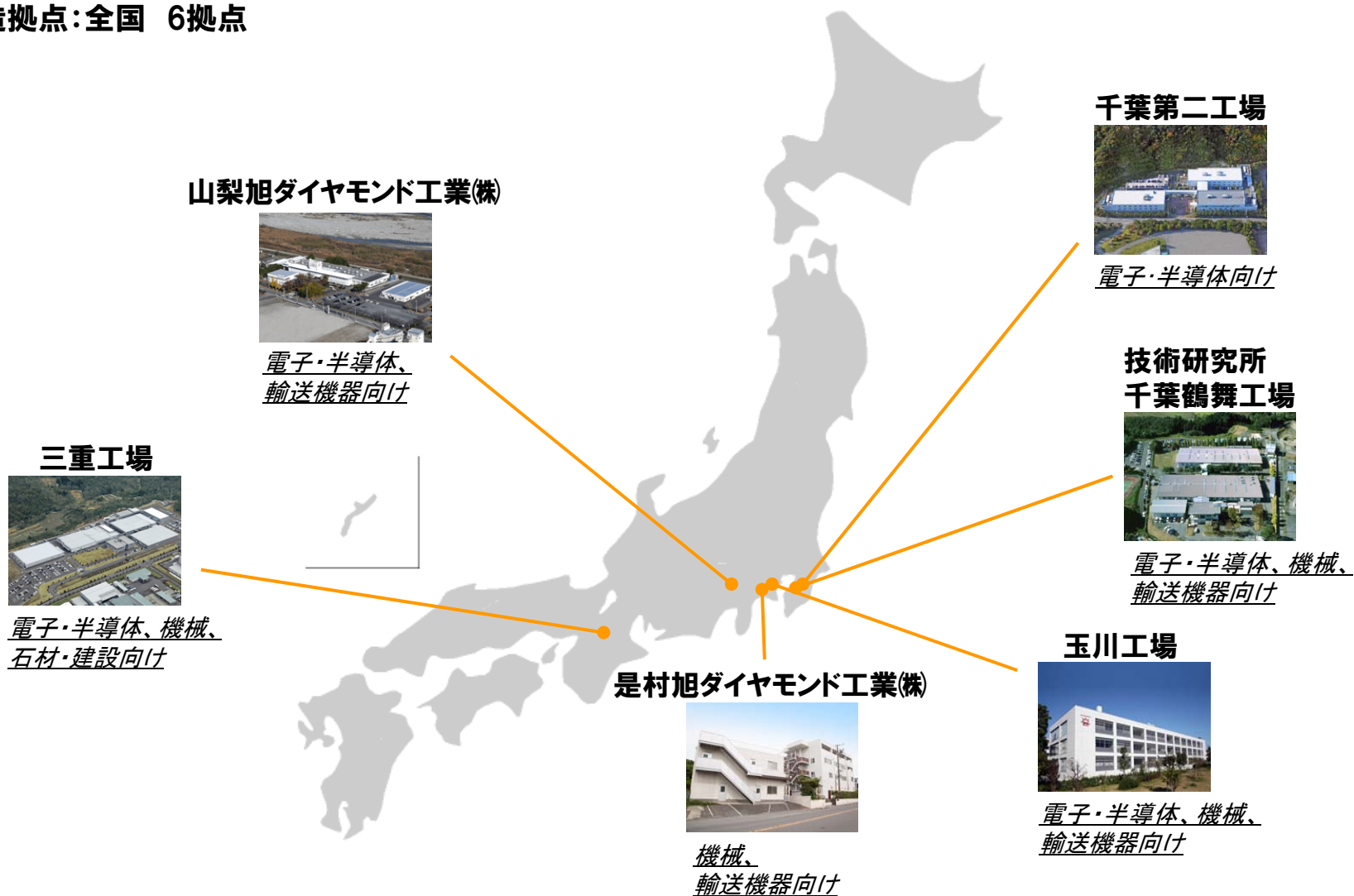
- ◆社名 旭ダイヤモンド工業株式会社
- ◆設立 1937年10月9日
- ◆資本金 41億200万円
- ◆所在地 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート11階
- ◆従業員 連結2,157名 単体1,042名（2018年3月31日現在）
- ◆事業内容 **ダイヤモンドおよび高硬度物質応用の各種工具、用具および精密機械の製造販売ならびに輸出入
各種宝石の研磨、加工、鑑定および売買ならびに貴金属および貴金属製品の売買
工業用ダイヤモンド原石、粉末(天然合成)等の販売ならびに輸出入**
- ◆関係会社 国内子会社2社、海外13社(子会社12社・関連会社1社)
- ◆売上高 454億5800万円（2018年3月期連結）



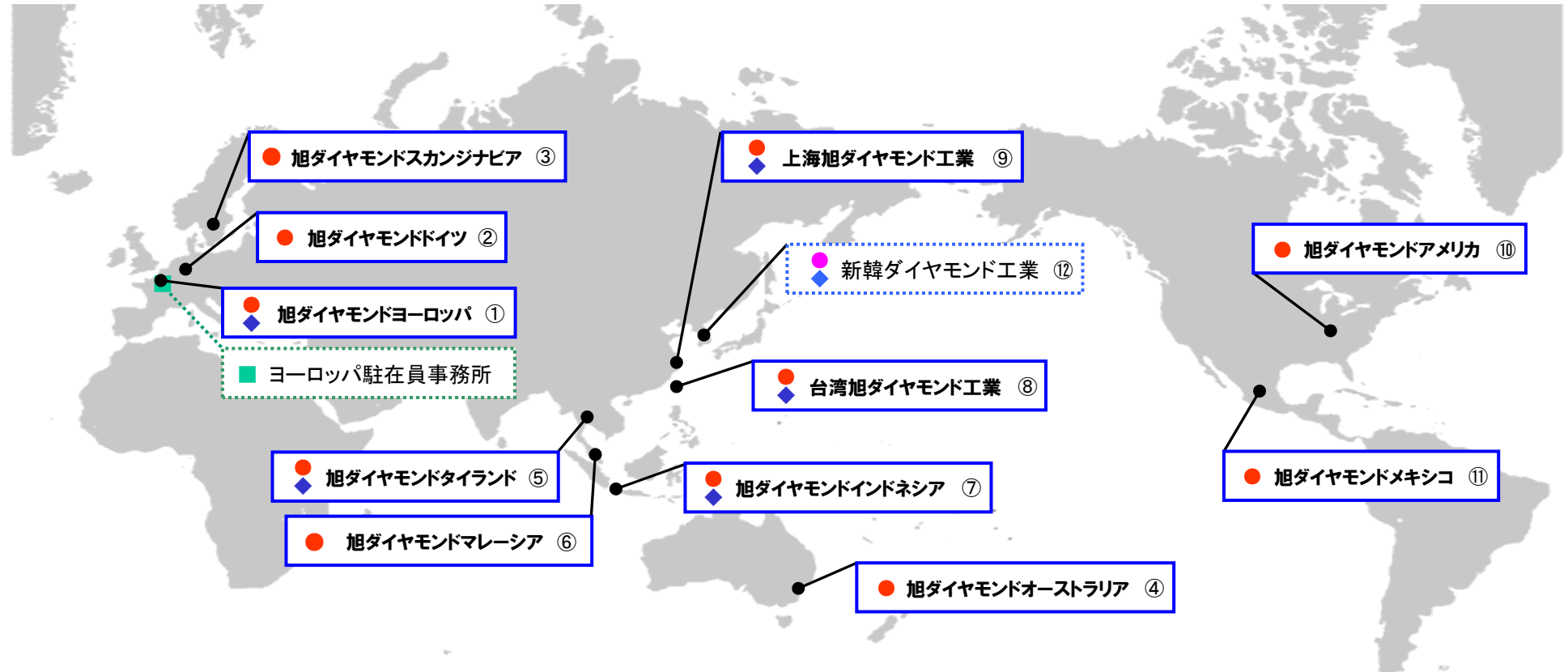
● 販売拠点：全国24拠点



● 製造拠点: 全国 6拠点



海外拠点



海外連結子会社
 ● 販売拠点
 ◆ 製造拠点

関連会社
 ● 販売拠点
 ◆ 製造拠点

■ 駐在員事務所

業 界	2018年3月期売上高		主要分類	主な用途	主要対象市場
	(百万円)	構成比			
電子・半導体	19,257	42.4%	単結晶・多結晶シリコン基板	○インゴットの切断 ○ウェーハの切断 ○ウェーハの研削	太陽電池 半導体
			電子材料素材	○サファイア基板(LED用)の切断・研削	LED
			半 導 体	○ウェーハのCMP加工 ○ウェーハの薄厚化(バックラインディング) ○ウェーハのダイシング(切断)	半導体
			F P D ガ ラ ス	○FPD用ガラス基板の面取り	FPD
			伸 線	○銅線、金線の伸線 ○スチール線の伸線	電線・ボンディングワイヤ 自動車用ワイヤハーネス
輸送機器	9,300	20.5%	自 動 車 輪	○カムシャフト等自動車部品の加工 ○自動車用ガラスの面取り ○DPF用セラミックフィルターの加工	自動車 二 輪
			航 空 機	○エンジンのタービンブレードの研削加工 ○航空機本体のCFRP材料の加工	航空機
機 械	9,884	21.7%	軸 受	○ベアリングの成形・超仕上げ加工	ベアリング
			超 硬 工 具	○超硬工具の成形加工	超硬工具
			工 作 機 械	○工作機械の部品加工、機械付け工具	工作機械
石 材 ・ 建 設	5,353	11.8%	石 材 (墓 石 ・ 建 築)	○墓石の切断・研磨 ○建築材料石材の切断・研磨	墓石 建設
			建 設	○道路の切断 ○コンクリート建造物の解体	建設 土木
			土 木 (資 源 探 査)	○ダムグラウト・温泉ボーリング ○資源の調査・探査ボーリング	ダム 鉱山、資源調査
そ の 他	1,662	3.6%		○大学、研究機関、窯業、宝飾品等	
合 計	45,458	100.0%			

1. 企業概要

2. 2018年3月期決算の概要

3. 2019年3月期の見通し

4. 中期経営計画の振り返り

5. 今後の戦略

決算概要(連結)

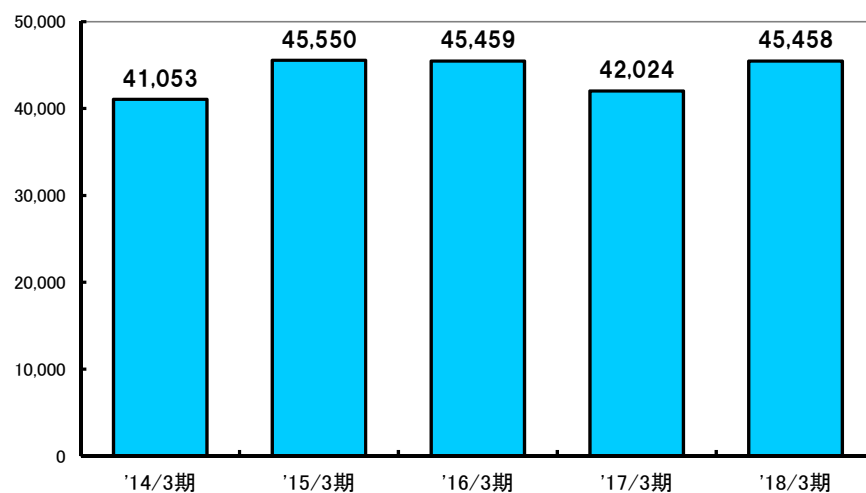
単位: 百万円

	'17年3月期		'18年3月期					
	実績	百分比 %	修正予想	百分比 %	実績	百分比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
売上高	42,024	100.0	45,600	100.0	45,458	100.0	+3,433	+8.2
営業利益	2,645	6.3	4,300	9.4	4,640	10.2	+1,995	+75.5
経常利益	2,945	7.0	4,740	10.4	5,074	11.2	+2,129	+72.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,487	5.9	3,170	7.0	1,614	3.6	▲872	▲35.1
1株当たり純利益(円)	44.34	-	56.92	-	29.00	-	▲15.34	▲34.6

注) 修正予想は2018年2月9日発表数字

売上高
(百万円)

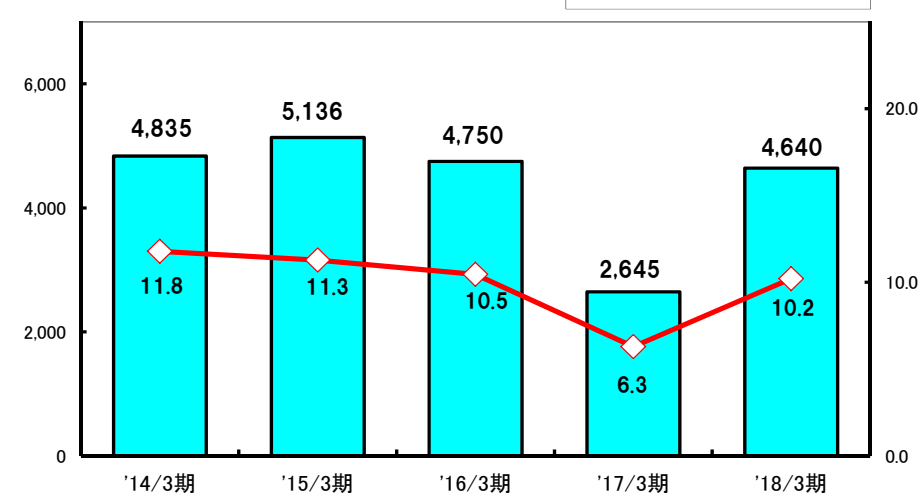
売上高



営業利益
(百万円)

営業利益

営業利益率
(%)



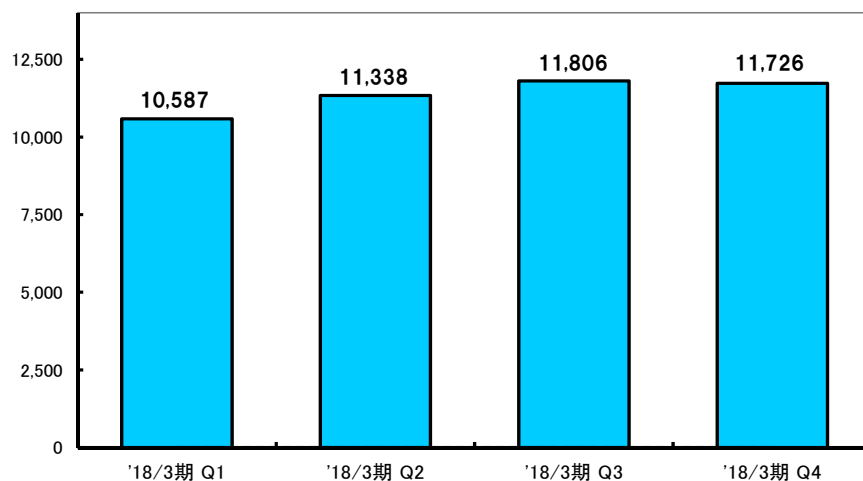
四半期別実績推移（連結）

単位：百万円

	'18年3月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績	百分比 %	実績	百分比 %	実績	百分比 %	実績	百分比 %
売上高	10,587	100.0	11,338	100.0	11,806	100.0	11,726	100.0
営業利益	795	7.5	1,007	8.9	1,588	13.5	1,249	10.7
経常利益	887	8.4	1,155	10.2	1,700	14.4	1,330	11.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	688	6.5	800	7.1	1,202	10.2	▲1,076	▲9.2

売上高
(百万円)

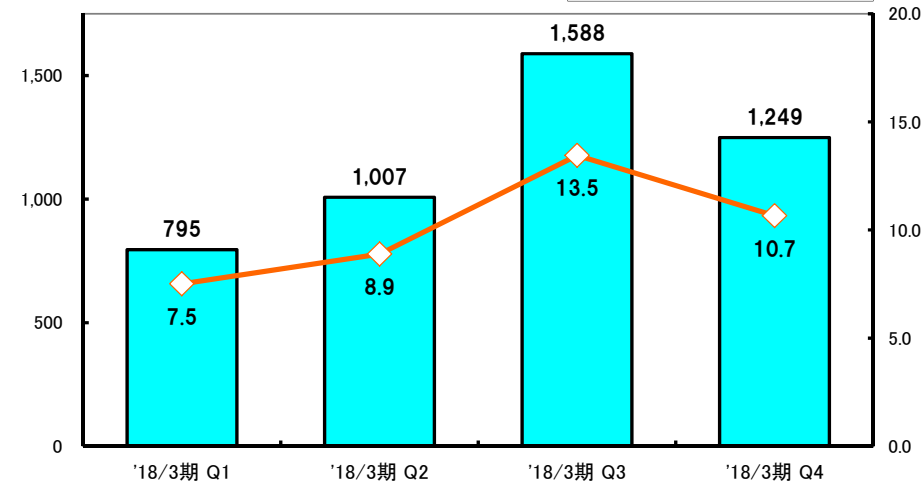
売上高



営業利益
(百万円)

営業利益

営業利益率
(%)

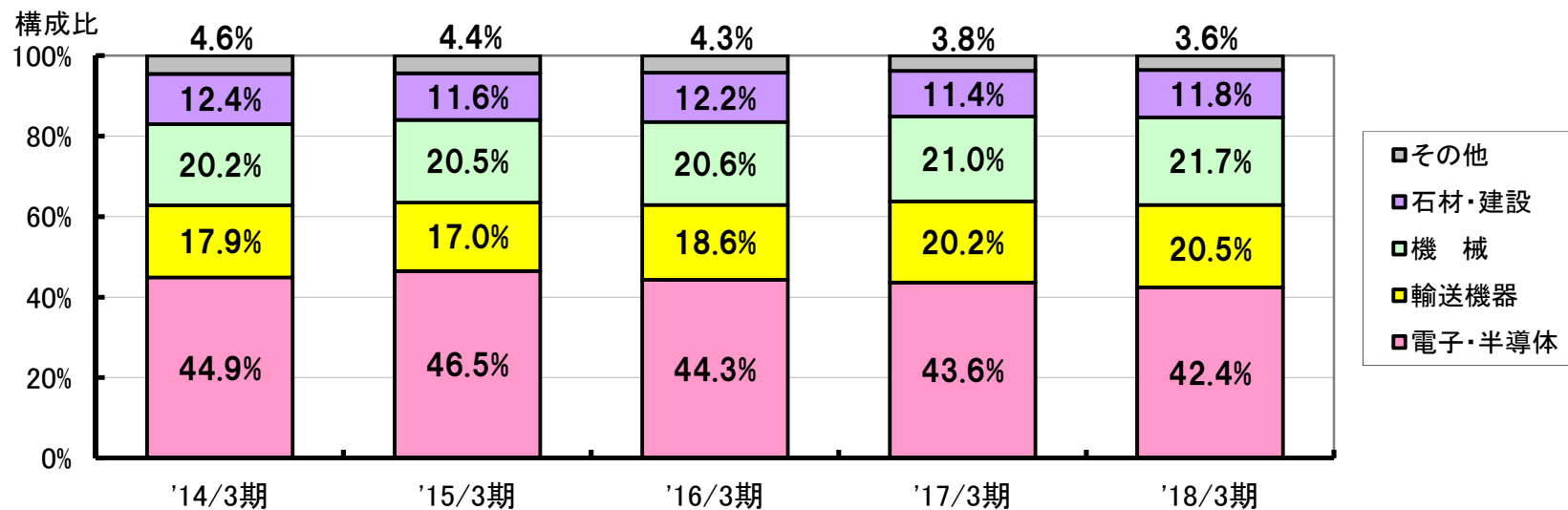


業界別売上高及び構成比(連結)

単位: 百万円

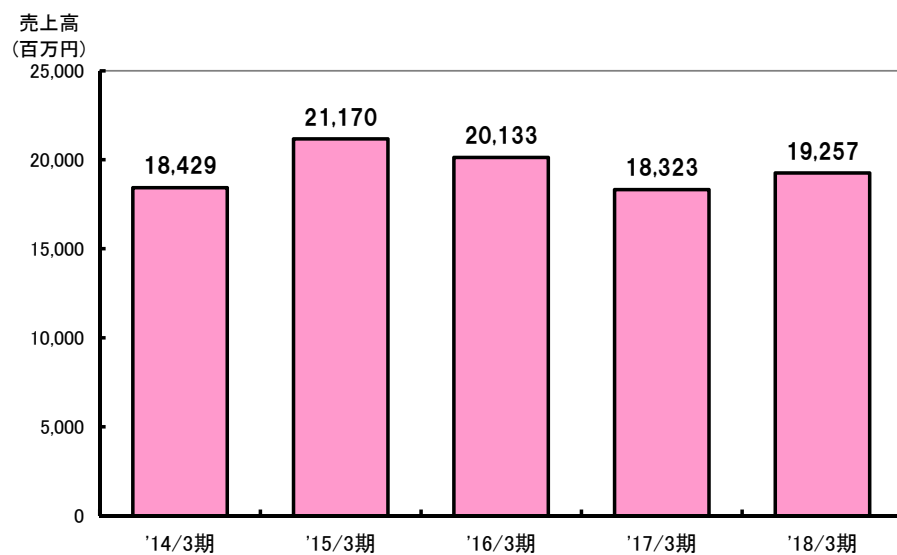
	'17年3月期		'18年3月期					
	売上高	構成比 %	修正予想	構成比 %	売上高	構成比 %	前年同期増減額	前年同期増減率%
電子・半導体	18,323	43.6	19,320	42.4	19,257	42.4	+933	+5.1
輸送機器	8,481	20.2	9,300	20.4	9,300	20.5	+818	+9.7
機械	8,805	21.0	9,900	21.7	9,884	21.7	+1,079	+12.3
石材・建設	4,818	11.4	5,380	11.8	5,353	11.8	+534	+11.1
その他	1,595	3.8	1,700	3.7	1,662	3.6	+67	+4.2
合計	42,024	100.0	45,600	100.0	45,458	100.0	+3,433	+8.2

注) 修正予想は2018年2月9日発表数字

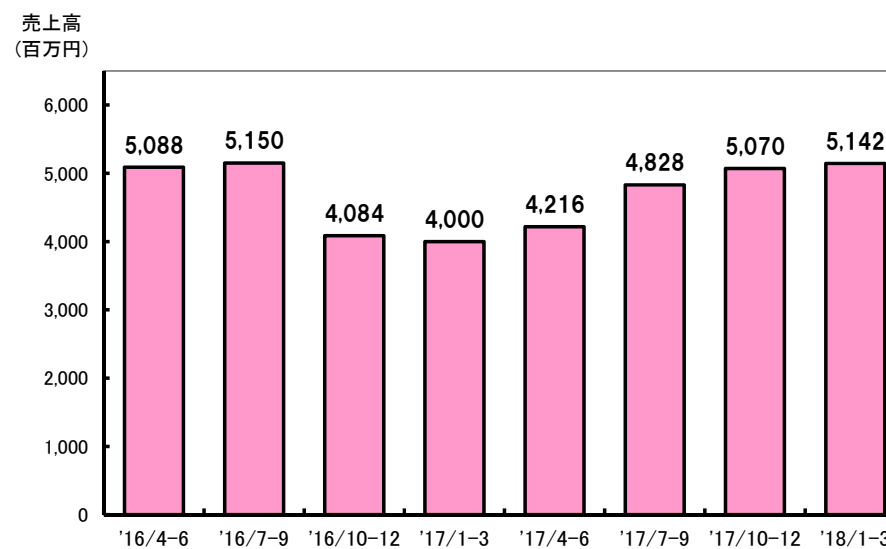


業界別売上高：① 電子・半導体

【通 期】

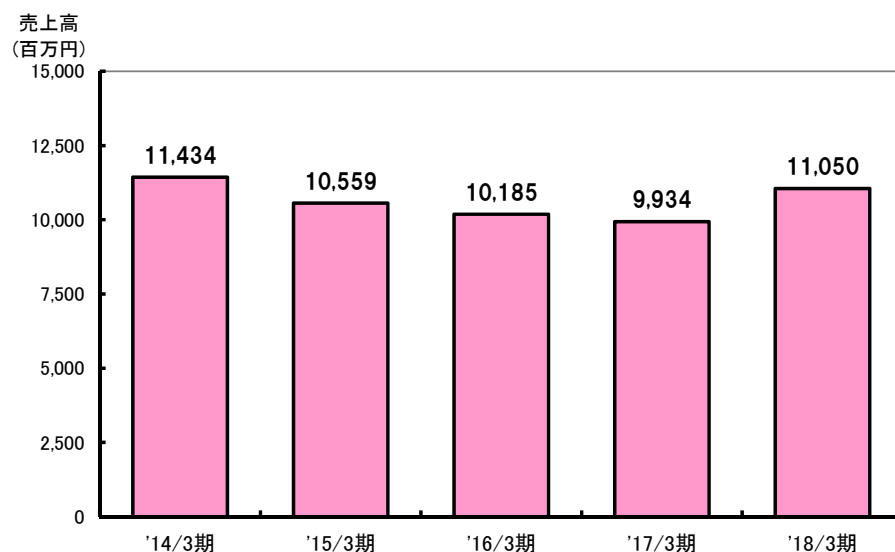


【四半期】

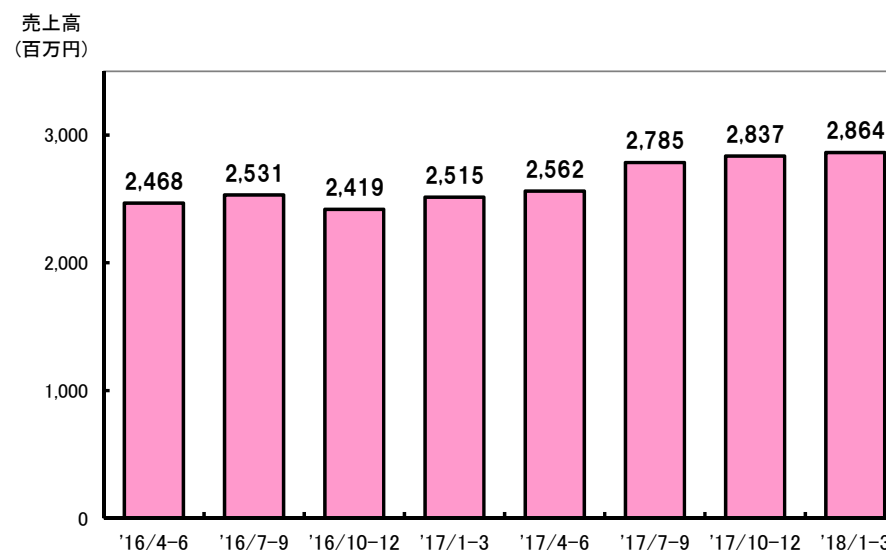


業界別売上高：① 電子・半導体 (電着ダイヤモンドワイヤ除く)

【通 期】



【四半期】



◆ **半導体・電子部品**

業界全体は好調で、関連工具の販売は増加

◆ **F P D**

テレビやタッチパネルの好調な生産により、関連工具の販売は増加

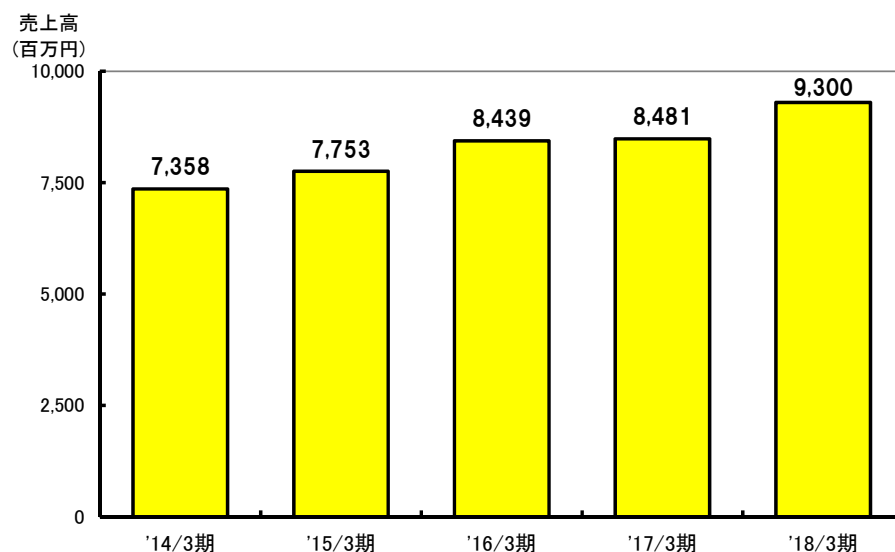
◆ **伸 線**

ボンディング・ワイヤ用及びソー・ワイヤ用ダイスともに増加

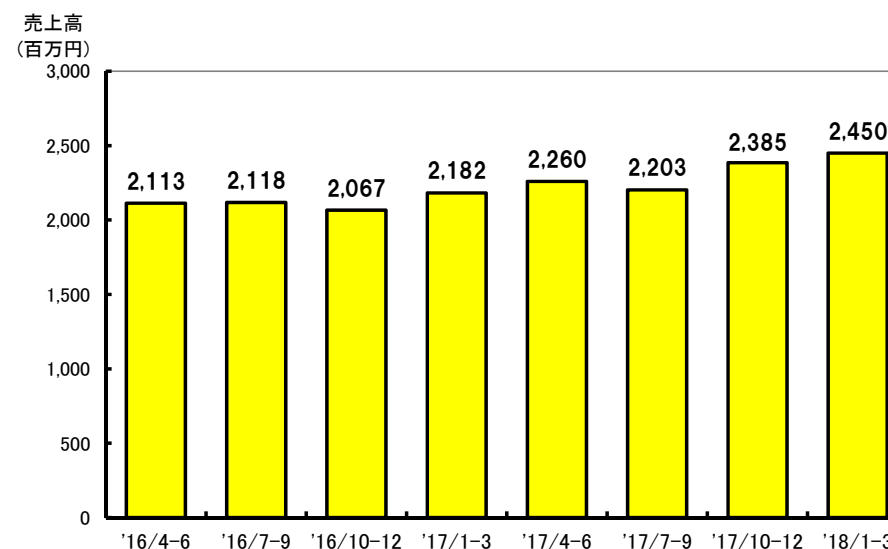


業界別売上高：② 輸送機器

【通 期】



【四半期】

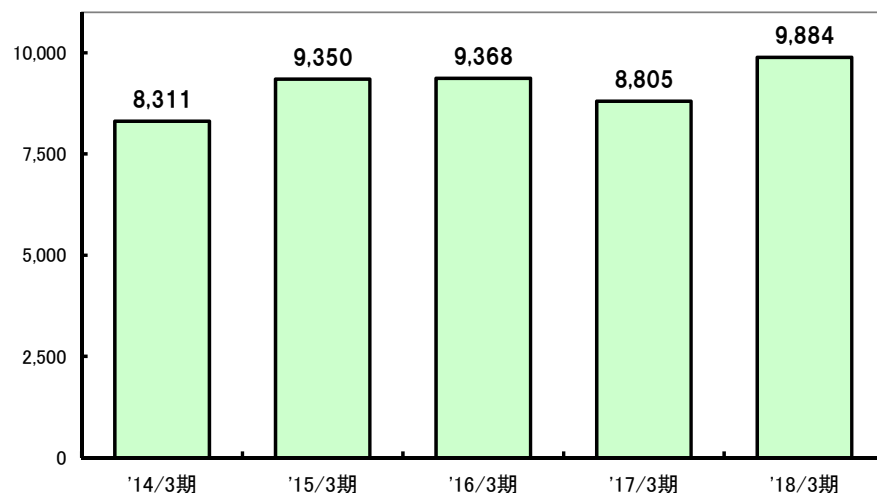


- ◆ **自動車**
堅調な自動車生産により、関連工具の販売は増加
- ◆ **航空機**
航空機の生産増により、関連工具の販売は増加



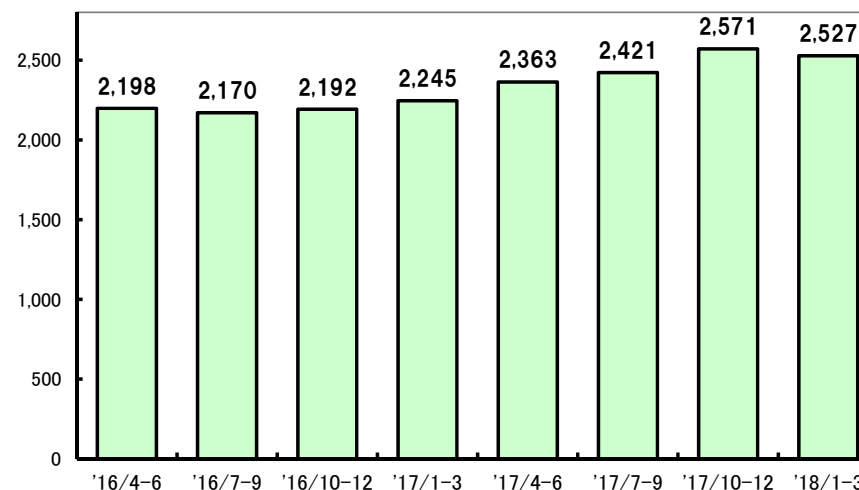
【通 期】

売上高
(百万円)



【四半期】

売上高
(百万円)



◆ **軸 受**

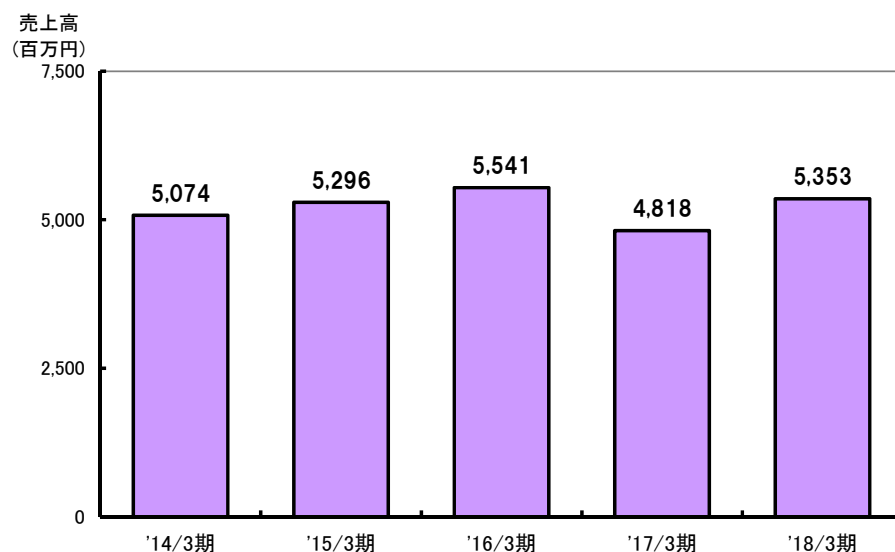
自動車や産業機械向け軸受の生産増により、関連工具の販売は増加

◆ **超硬工具**

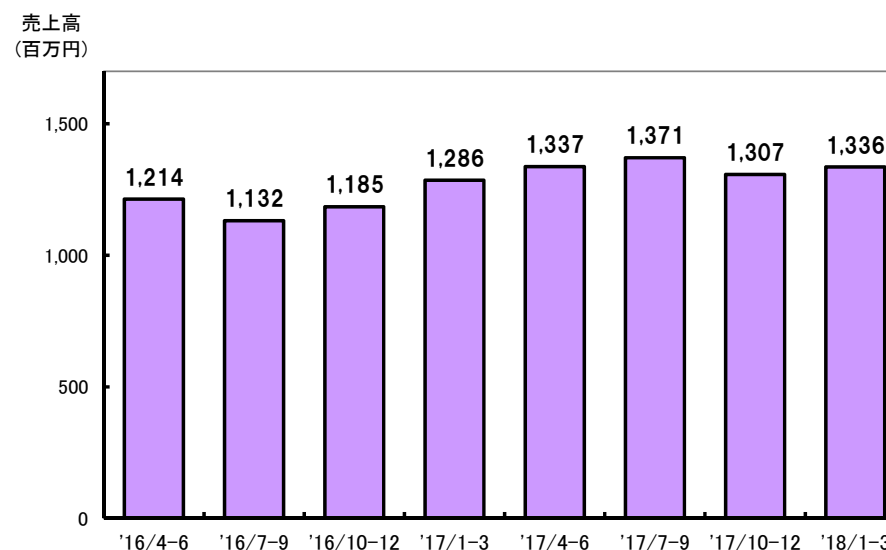
国内超硬工具の生産増により、関連工具の販売は増加



【通 期】



【四半期】



◆ 鉱物資源探査

国内の地質調査や海外の鉱物資源探査が回復傾向にあり、関連工具の販売は増加

◆ 国内建設

道路関係の公共工事は低調も、新製品投入効果や解体工事用工具の販売増により増加

◆ 流通商品 (ポータブルカッタ)

海外市場向け新製品の投入などにより、販売は増加

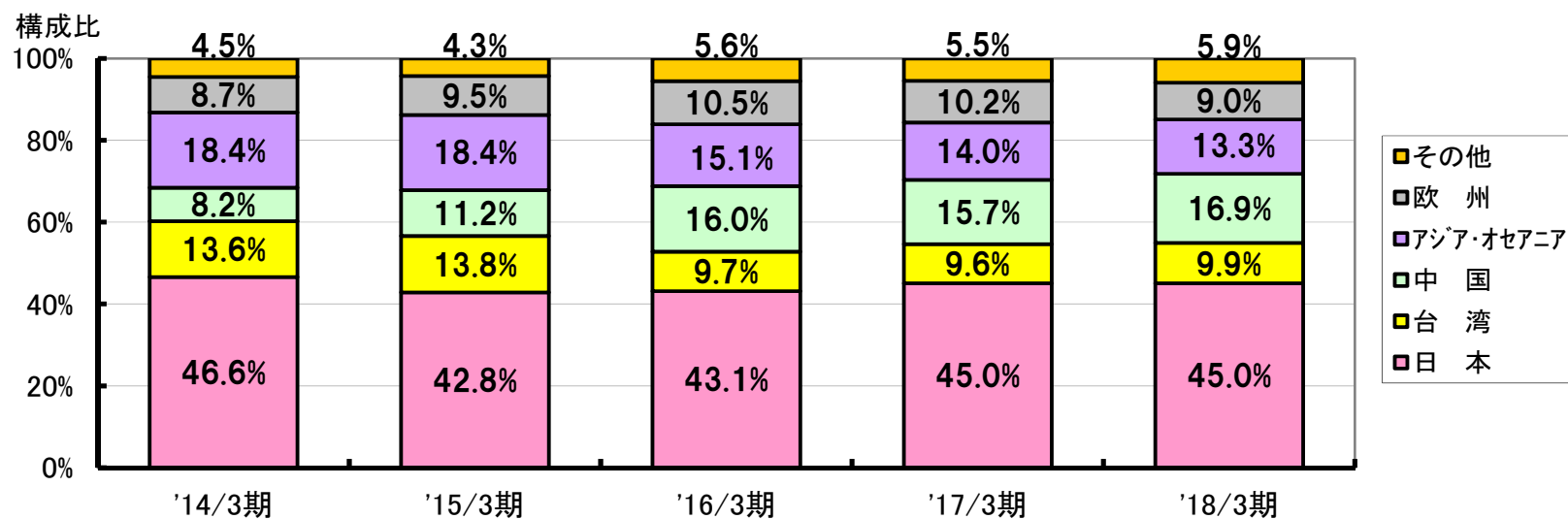


地域別売上高及び構成比(連結)

単位: 百万円

	'17年3月期		'18年3月期					
	売上高	構成比 %	修正予想	構成比 %	売上高	構成比 %	前年同期増減額	前年同期増減率 %
日 本	18,919	45.0	20,770	45.6	20,480	45.0	+1,560	+8.2
台 湾	4,043	9.6	4,490	9.8	4,487	9.9	+443	+11.0
中 国	6,605	15.7	7,740	17.0	7,668	16.9	+1,062	+16.1
その他アジア・オセアニア	5,858	14.0	5,980	13.1	6,042	13.3	+184	+3.1
欧 州	4,280	10.2	3,970	8.7	4,079	9.0	▲201	▲4.7
そ の 他	2,316	5.5	2,650	5.8	2,700	5.9	+384	+16.6
海 外 計	23,105	55.0	24,830	54.4	24,978	55.0	+1,873	+8.1
合 計	42,024	100.0	45,600	100.0	45,458	100.0	+3,433	+8.2

注) 修正予想は2018年2月9日発表数字



連結貸借対照表

単位:百万円

	'17年3月末	'18年3月末	増減		'17年3月末	'18年3月末	増減
資産の部				負債の部			
現金及び預金	14,916	18,202	+3,286	支払手形及び買掛金	1,632	1,865	+233
受取手形及び売掛金	10,846	12,782	+1,936	未払法人税等	208	1,087	+879
たな卸資産	6,234	6,693	+459	退職給付に係る負債	7,672	7,801	+128
有形固定資産	23,133	19,919	▲3,213	その他	3,880	4,215	+334
無形固定資産	123	107	▲15	負債合計	13,394	14,969	+1,575
投資有価証券	12,930	14,502	+1,572	純資産の部			
その他	2,498	2,469	▲28	純資産合計	57,288	59,708	+2,420
資産合計	70,682	74,678	+3,996	負債純資産合計	70,682	74,678	+3,996

連結キャッシュ・フロー計算書

ASAHI DIAMOND



単位：百万円

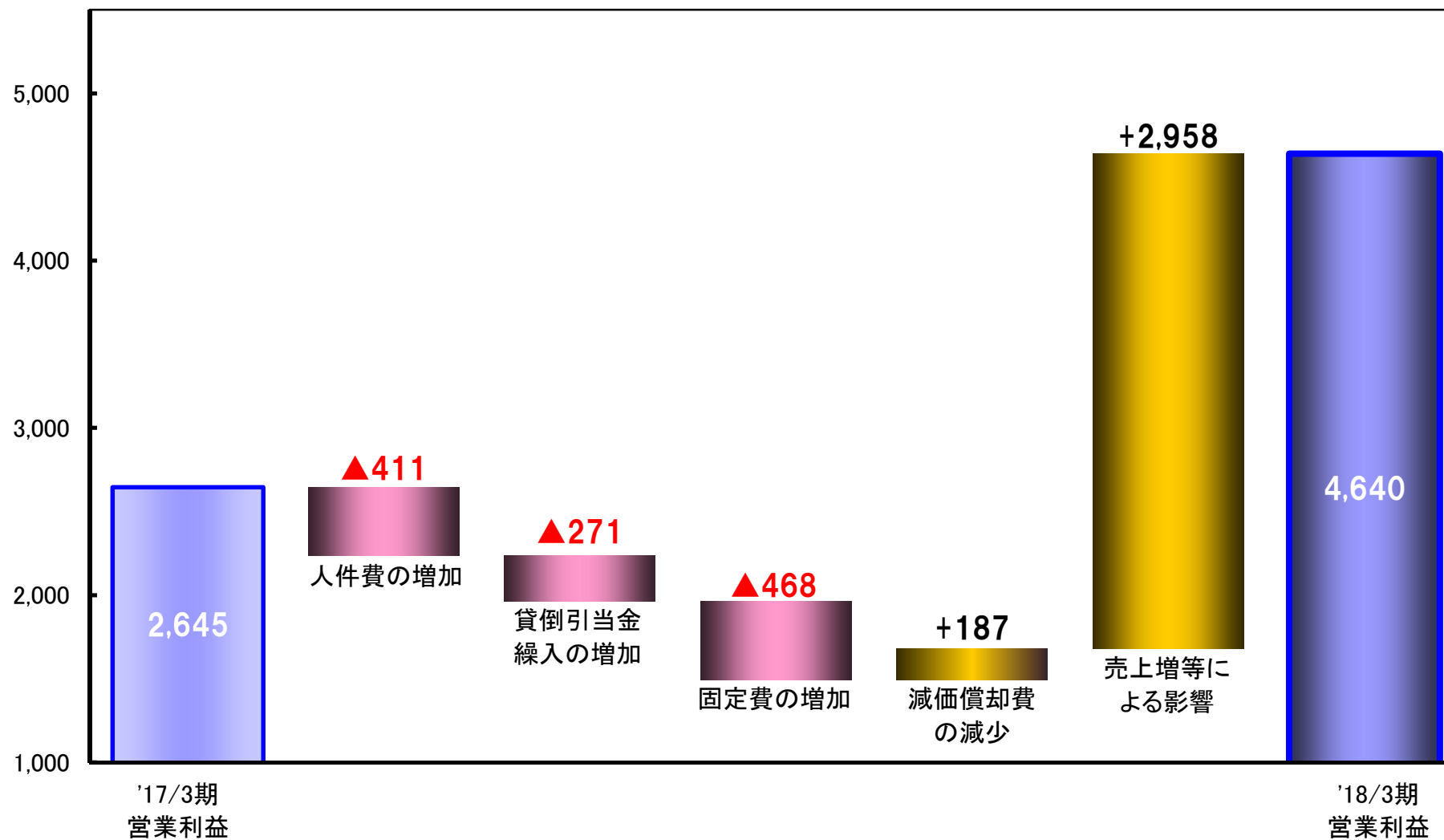
	'17年3月期	'18年3月期	増減
税金等調整前当期純利益	3,241	2,649	▲591
減価償却費	3,353	3,165	▲187
減損損失	93	2,451	+2,357
売上債権の増減額	569	▲1,817	▲2,387
たな卸資産の増減額	212	▲394	▲607
法人税等の支払額	▲1,165	▲547	+617
その他	▲101	931	+1,032
営業活動によるキャッシュ・フロー 合計	6,205	6,439	+234
有形固定資産の取得/売却	▲2,190	▲2,294	▲104
投資有価証券の取得/売却/償還	1,019	22	▲997
その他	▲23	▲121	▲97
投資活動によるキャッシュ・フロー 合計	▲1,194	▲2,393	▲1,199
自己株式の取得/売却	▲846	▲2	+844
配当金の支払額	▲1,409	▲782	+626
その他	▲375	▲155	+220
財務活動によるキャッシュ・フロー 合計	▲2,631	▲939	+1,692
現金及び現金同等物の期末残高	15,276	18,468	+3,192



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

連結営業利益 増減要因分析

(百万円)



1. 企業概要

2. 2018年3月期決算の概要

3. *2019年3月期の見通し*

4. 中期経営計画の振り返り

5. 今後の戦略

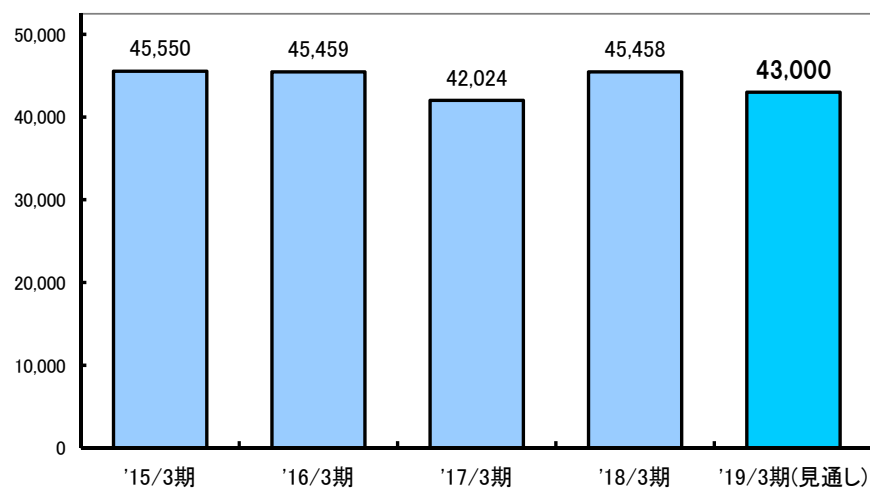
見通し 概要 (連結)

単位: 百万円

	'18年3月期 上期実績	百分比 %	'19年3月期 上期見通し	百分比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%	'18年3月期 通期実績	百分比 %	'19年3月期 通期見通し	百分比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
売上高	21,926	100.0	21,000	100.0	▲926	▲4.2	45,458	100.0	43,000	100.0	▲2,458	▲5.4
営業利益	1,802	8.2	1,140	5.4	▲662	▲36.8	4,640	10.2	2,700	6.3	▲1,940	▲41.8
経常利益	2,043	9.3	1,580	7.5	▲463	▲22.7	5,074	11.2	3,350	7.8	▲1,724	▲34.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,489	6.8	1,080	5.1	▲409	▲27.5	1,614	3.6	2,250	5.2	+635	+39.3
為替レート	JPY/USD						112.5	-	105.0			
	JPY/EUR						126.9	-	130.0			
	JPY/CNY						16.7	-	16.5			

売上高
(百万円)

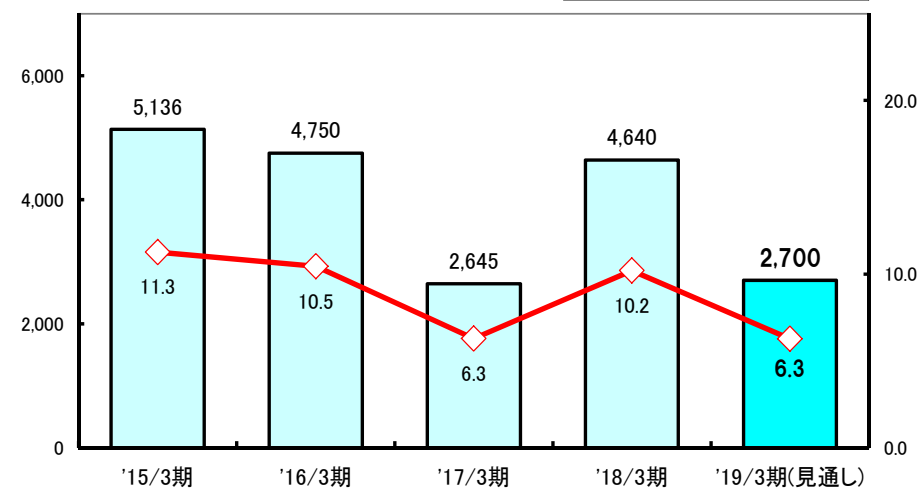
売上高



営業利益
(百万円)

営業利益

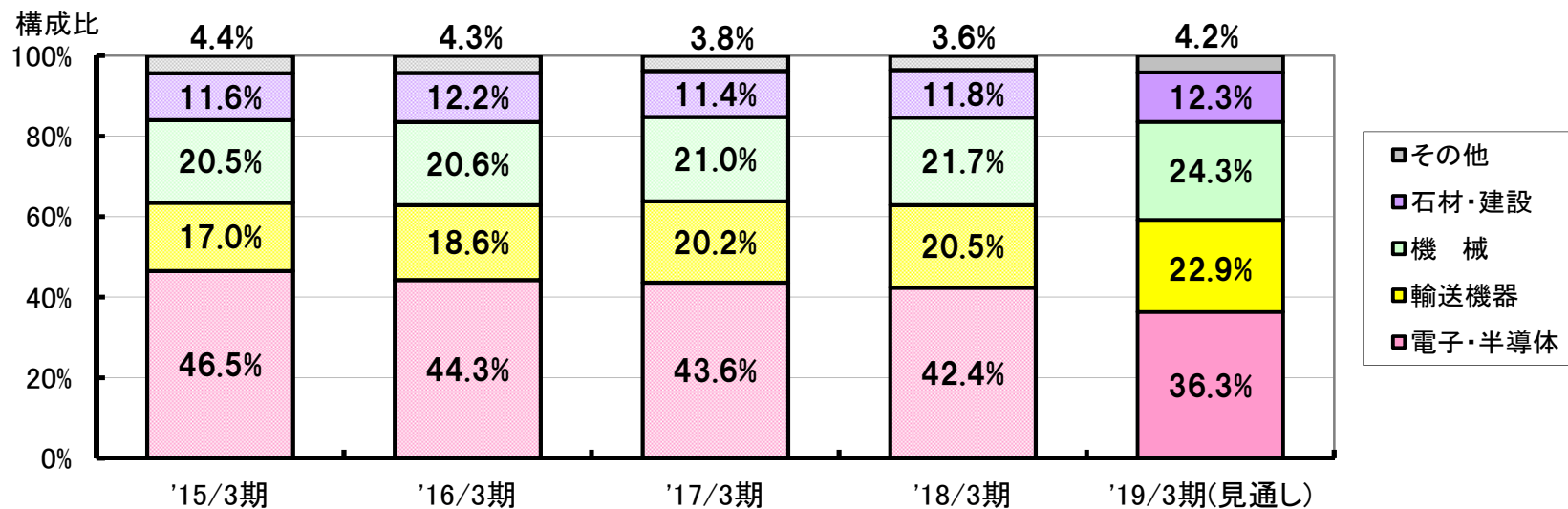
営業利益率
(%)



業界別売上高及び構成比見通し(連結)

単位:百万円

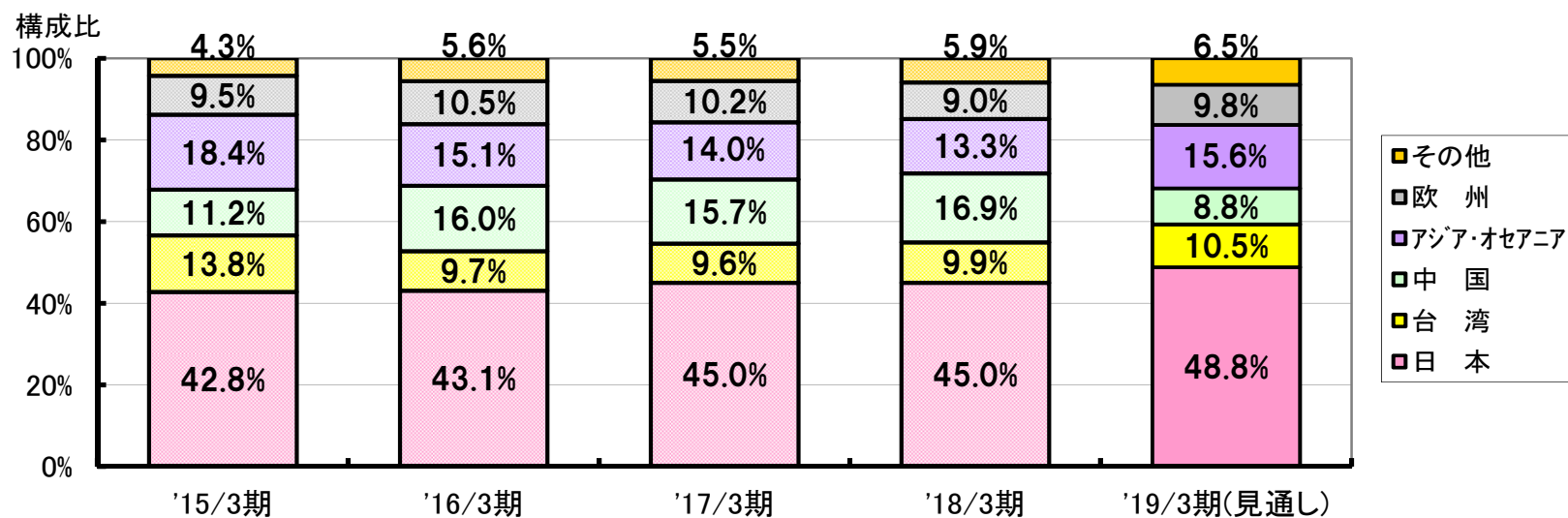
	'18年3月期 上期実績	構成比 %	'19年3月期 上期見通し	構成比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%	'18年3月期 通期実績	構成比 %	'19年3月期 通期見通し	構成比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
電子・半導体	9,044	41.2	7,600	36.2	▲1,444	▲16.0	19,257	42.4	15,600	36.3	▲3,657	▲19.0
輸送機器	4,464	20.4	4,740	22.6	+275	+6.2	9,300	20.5	9,830	22.9	+529	+5.7
機械	4,785	21.8	5,100	24.3	+314	+6.6	9,884	21.7	10,450	24.3	+565	+5.7
石材・建設	2,709	12.4	2,590	12.3	▲119	▲4.4	5,353	11.8	5,300	12.3	▲53	▲1.0
その他	922	4.2	970	4.6	+47	+5.2	1,662	3.6	1,820	4.2	+157	+9.5
合計	21,926	100.0	21,000	100.0	▲926	▲4.2	45,458	100.0	43,000	100.0	▲2,458	▲5.4



地域別売上高及び構成比見通し(連結)

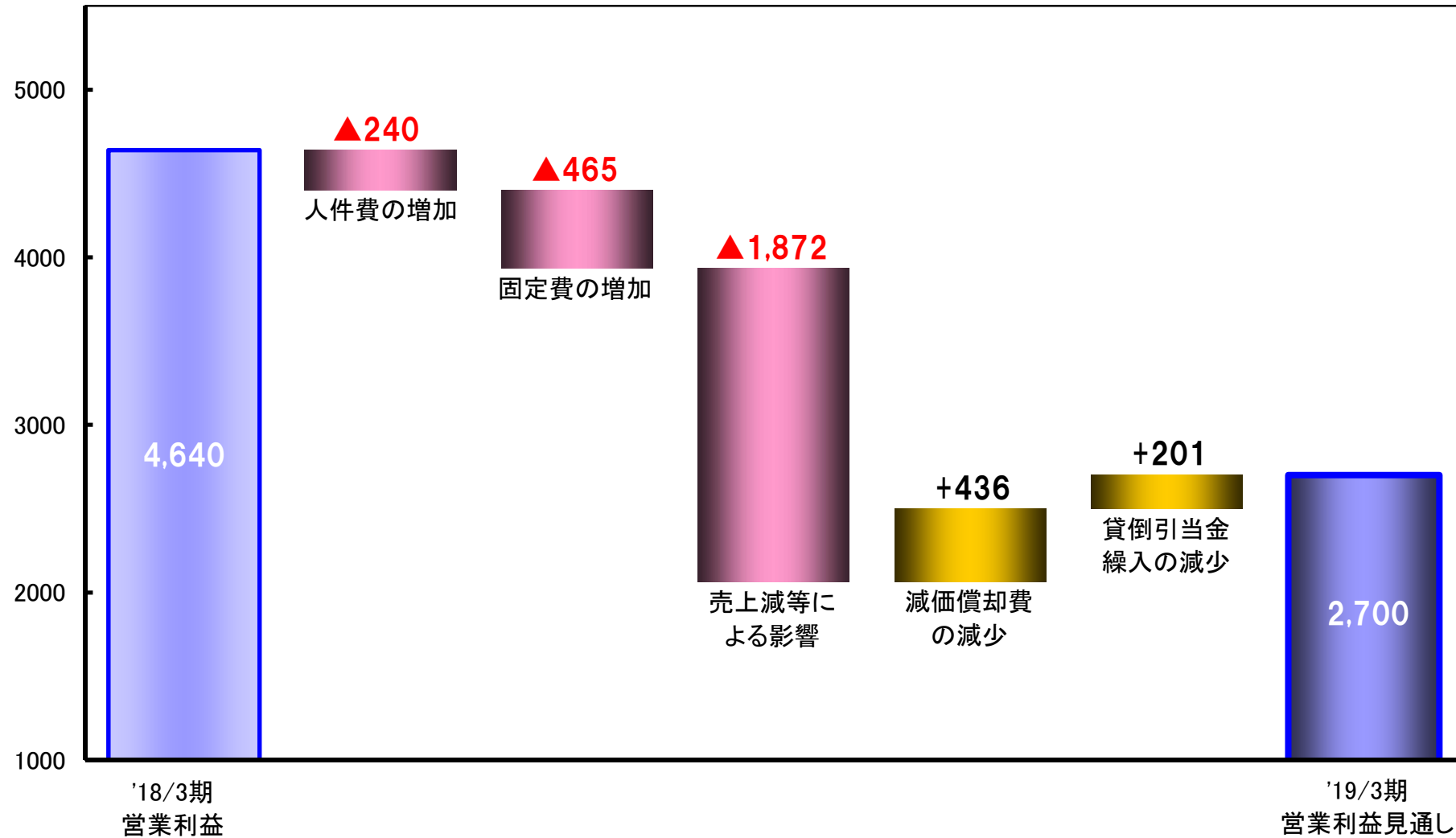
単位:百万円

	'18年3月期 上期実績	構成比 %	'19年3月期 上期見通し	構成比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%	'18年3月期 通期実績	構成比 %	'19年3月期 通期見通し	構成比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
日 本	10,013	45.7	10,300	49.0	+286	+2.9	20,480	45.0	21,000	48.8	+519	+2.5
台 湾	2,286	10.4	2,300	11.0	+13	+0.6	4,487	9.9	4,500	10.5	+12	+0.3
中 国	3,264	14.9	2,000	9.5	▲1,264	▲38.7	7,668	16.9	3,800	8.8	▲3,868	▲50.4
その他アジア・オセアニア	2,960	13.5	2,900	13.8	▲60	▲2.0	6,042	13.3	6,700	15.6	+657	+10.9
欧 州	2,018	9.2	2,200	10.5	+181	+9.0	4,079	9.0	4,200	9.8	+120	+3.0
そ の 他	1,382	6.3	1,300	6.2	▲82	▲6.0	2,700	5.9	2,800	6.5	+99	+3.7
海 外 計	11,912	54.3	10,700	51.0	▲1,212	▲10.2	24,978	55.0	22,000	51.2	▲2,978	▲11.9
合 計	21,926	100.0	21,000	100.0	▲926	▲4.2	45,458	100.0	43,000	100.0	▲2,458	▲5.4

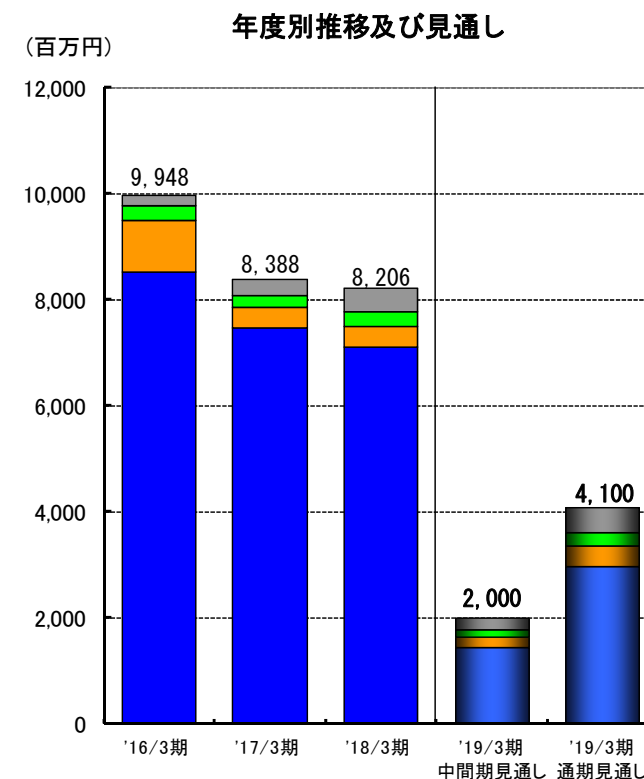
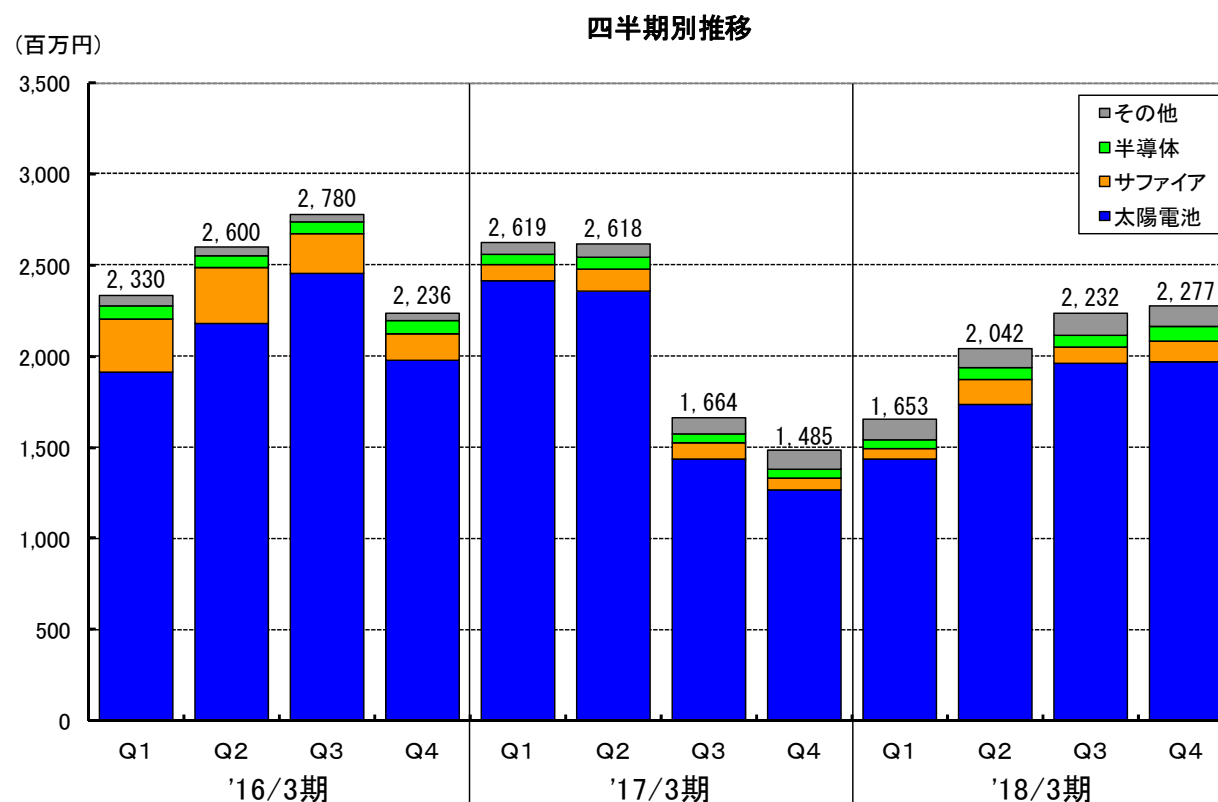


連結営業利益見通し 増減要因分析

(百万円)



「電着ダイヤモンドワイヤ」売上高推移と見通し（連結）



◆ 2018年3月期の売上高は 82.06億円（前年比 2%減）

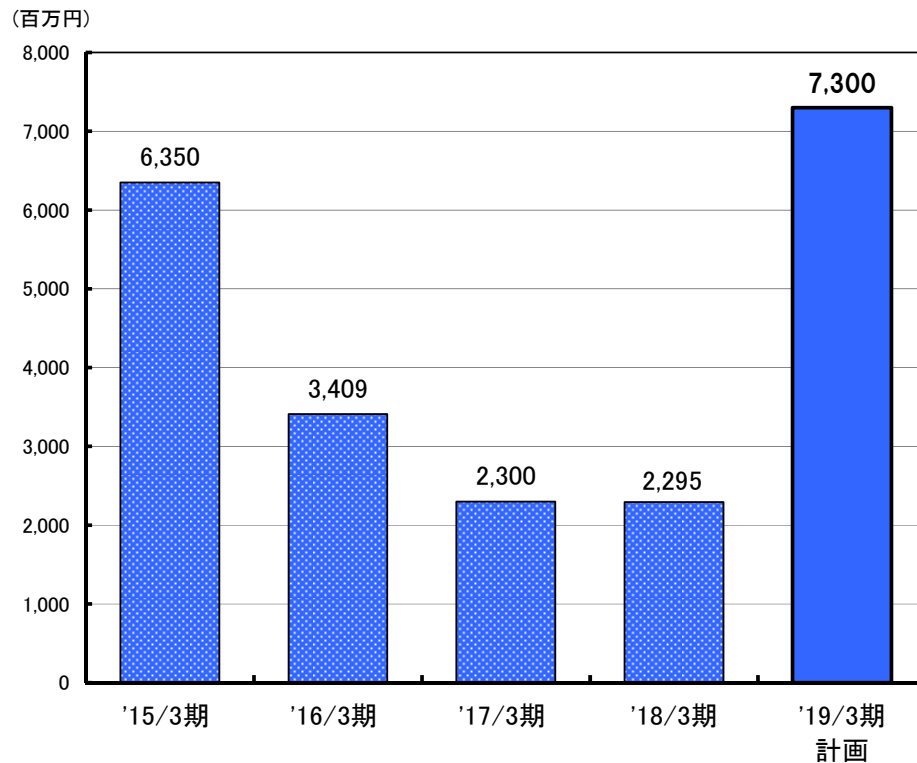
- ・「太陽電池」向け:前年比 5%減
- ・「太陽電池」以外:前年比 21%増

◆ 2019年3月期の売上高見通しは 41億円（前年比 50%減）

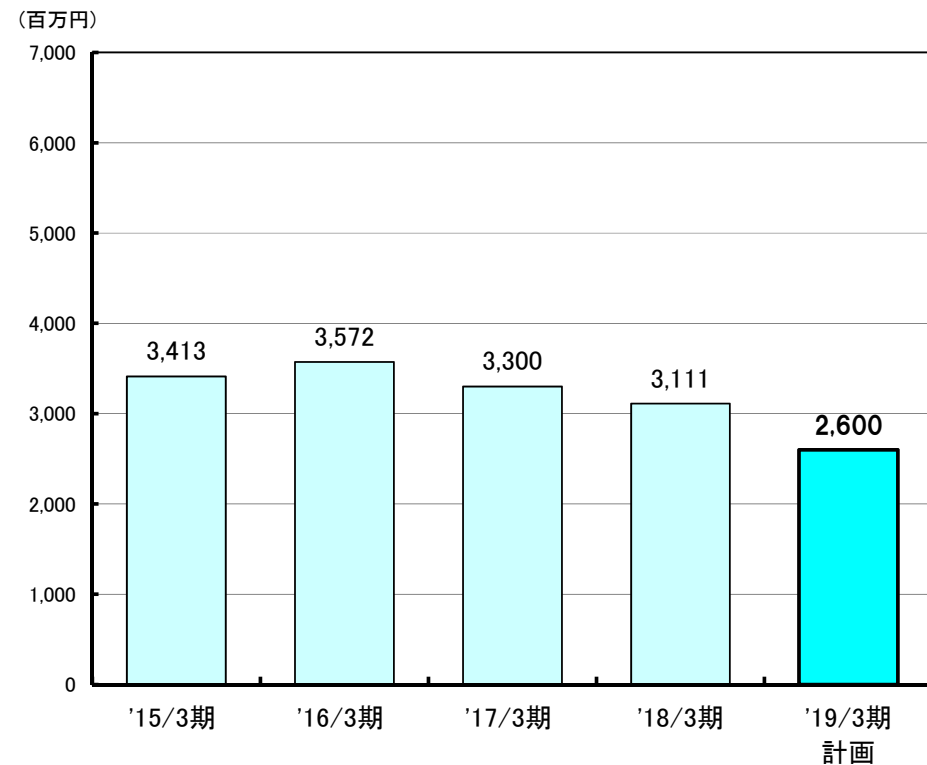
- ・「太陽電池」向け:前年比 58%減
- ・「太陽電池」以外:前年比 2%増



設備投資額



減価償却額



1. 企業概要

2. 2018年3月期決算の概要

3. 2019年3月期の見通し

4. **中期経営計画の振り返り**

5. 今後の戦略

「中期経営計画2017 — Polish Up Asahi —」 基本方針

① 売上高・営業利益等の
数値目標達成

② 資本効率および資産
効率の向上

③ 実効的なコーポレート
ガバナンスの実現

	'18年3月期 目標	'18年3月期 実績
連結売上高 (百万円)	51,000	45,458
内 電着ワイヤ (百万円)	13,000	8,206
内 電着ワイヤ以外 (百万円)	38,000	37,252
連結営業利益 (百万円)	8,000	4,640
連結営業利益率 (%)	15.7	10.2

	'18年3月期 目標	'18年3月期 実績
ROE (%)	10.0	2.8
連結配当性向	40%以上	44.8% ※3年間累計
自己株式取得 (百万円)	機動的に実施	2,092 ※3年間累計
設備投資 (百万円)	11,000 ※3年間累計	8,005 ※3年間累計

— 実行テーマ —

製品開発

サービス

人材育成

1. 企業概要
2. 2018年3月期決算の概要
3. 2019年3月期の見通し
4. 中期経営計画の振り返り
5. 今後の戦略

①電着ダイヤモンドワイヤ（EcoMEP）

・細線化 ・用途拡販 ・価格競争の回避

②主要工具

・自動車業界 ・電子部品業界 ・軸受業界

③生産品目の再編

・千葉第三工場(仮称)建設に伴う工場別生産品目の再編

④製造原価低減

⑤海外事業の強化

⑥M & A、業務提携

モノづくりを もっと面白く

唯一無二 One and Only

世界の変化を先取りし、革新的技術とグローバルな組織力で、当社にしかできない製品・ソリューションを提供し続けます。

永続的な成長 Eternal Growth

モノづくりに携わる全世界のお客様から最も頼られる存在となり、永続的に成長する企業を目指します。

働きがい Job Satisfaction

仕事のやりがいを個々の成長に結び付けて持ち味を引き出し、全従業員がいきいきと働く企業を目指します。



本資料には、過去の事実以外に今後の業績見通しや計画が記載されていますが、これらの見通しや計画は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。